

# 夏目漱石作品 P O P コンテスト結果発表

全国各地からたくさんの P O P をお寄せいただき、ありがとうございました。  
コンテスト締切（5月5日）までにご応募いただいた 242 作品の中から  
選考した結果をこちらに発表いたします。  
受賞された皆さんには、追って各賞をお送りします。



朝日新聞社賞 3、岩波書店賞 3、神奈川近代文学館賞 3 のほかに  
力作が多かったので、神奈川近代文学館賞 + 1、  
ほかにビジュアル賞 + 2 を選びました。



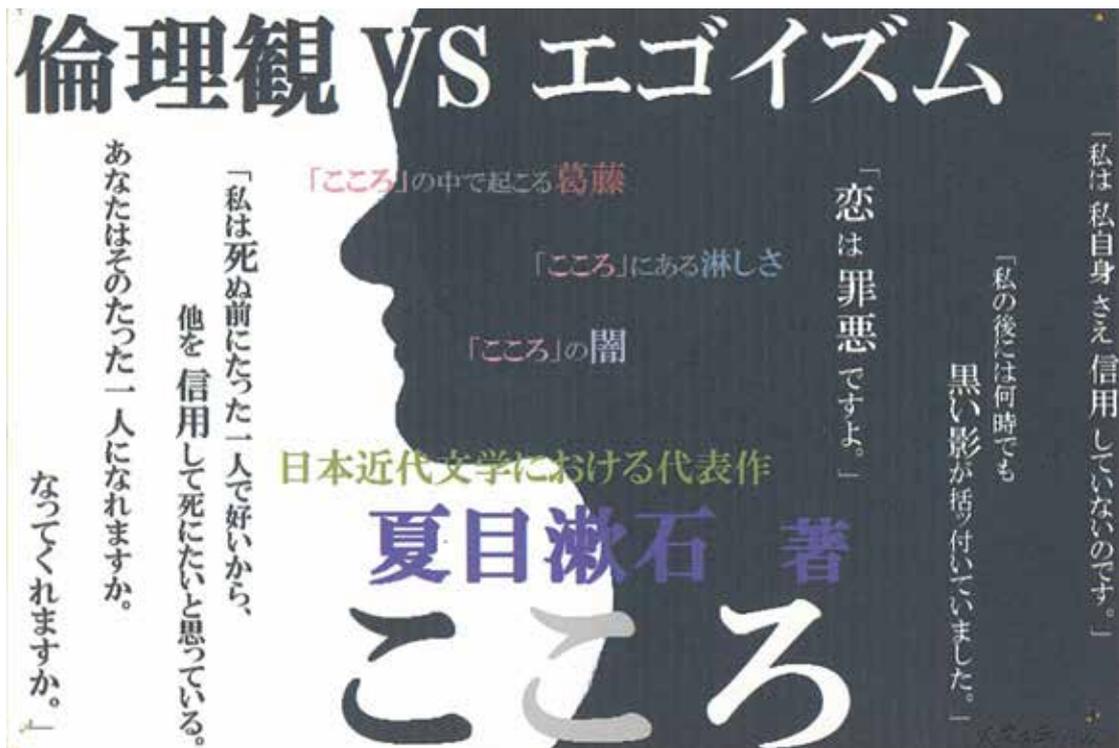
応募者の方が P O P を書く対象とした漱石作品のベスト 3 は、  
1位は ダントツで「心」137 作品  
（うち、学校を通じてまとめたのご応募 110 点）で、  
「向上心の無い人間は馬鹿だ」を引用していた作品が多いのが印象的です。

2位は、実は読了した人が少ないのでは、と言われている  
「吾輩は猫である」32 作品で、  
バラエティーに富んだ猫のイラストが多数寄せられました。

3位は、幅広い年代（と思われる）の支持を得た「夢十夜」27 作品で、  
第一話に出てくる百合の花をモチーフにされた方が多かったです。  
以下は、「三四郎」8 作品、「それから」7 作品と続き、上位 3 作品の人気が伺えます。

5月22日（日）まで展示会場内の通路に掲示していますので、  
展覧会と併せて是非御覧下さい。

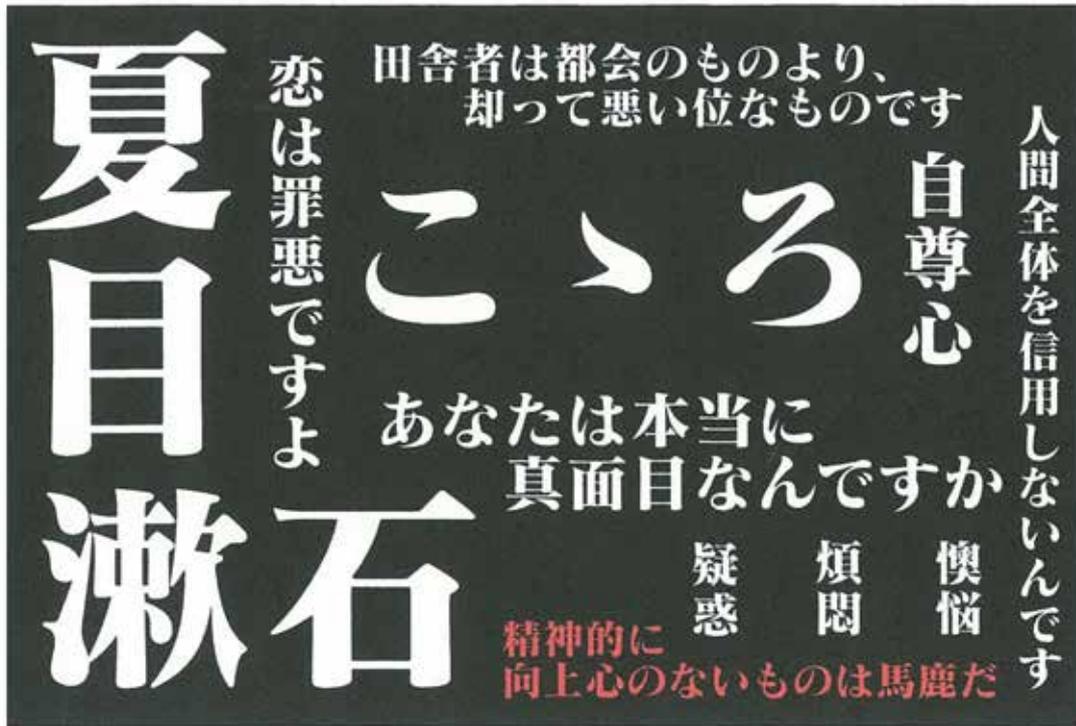
岩波書店賞…約半数を占めた「心」から選びました



東京都世田谷区 M. Kさん



静岡県浜松市浜北区 A. Oさん



神奈川県厚木市 [K]. Fさん

■コメント

文字中心の2作品。漱石作品の中でも「心」が特に〈決めぜりふ〉の宝庫だということを改めて気付かせてくれるPOPです。どのせりふも本当にかっこいいですね。A.Oさんの作品は、今や国民的体験となった〈教科書で「心」を読んだ〉懐かしいあの頃を思い出させます。Kの自殺現場の描写に貧血を起こした女子もいました！



千葉県成田市 A. Fさん

『夢十夜』



夏目漱石としては珍しい幻想小説、『夢十夜』。

頁を捲れば、ページ毎に不思議で美しい夢へと誘って行く。

ある時は甘と100年の契りと交わし。

またある時は悟れぬ侍の焦燥と同調し。

あるいは怪しげな裁縫子と背に負い道を行き。

もしくは夜は夜は白皮参りと繰り返す母子の声を聞く。

夢はラフフはあらず。

だからこそ、私達は『幻』を想うのだから。

さて、



昨日、貴方が見た夢は？

神奈川県藤沢市

K. Uさん



## 横浜サイエンスフロンティア高校 S. Hさん

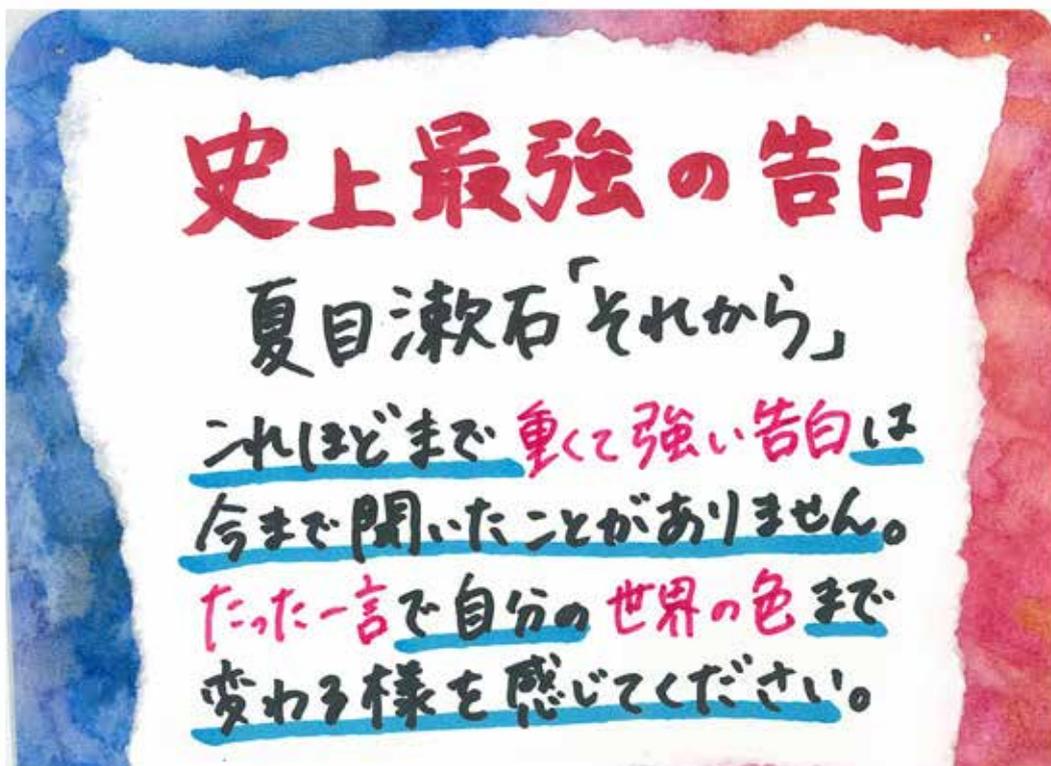
### ■コメント

「吾輩は猫である」(A.Fさん)、「吾輩を通して見えてくる人間『夏目漱石』の本性」というフレーズが鋭い!おなじく「猫」(S,Hさん)、「餅がとれない」シーンは私もお気に入りです。「夢十夜」(K.Uさん)、「夢十夜」の特異性に焦点をあてたこんなPOPなら確実に本を手にとってしまいますね。

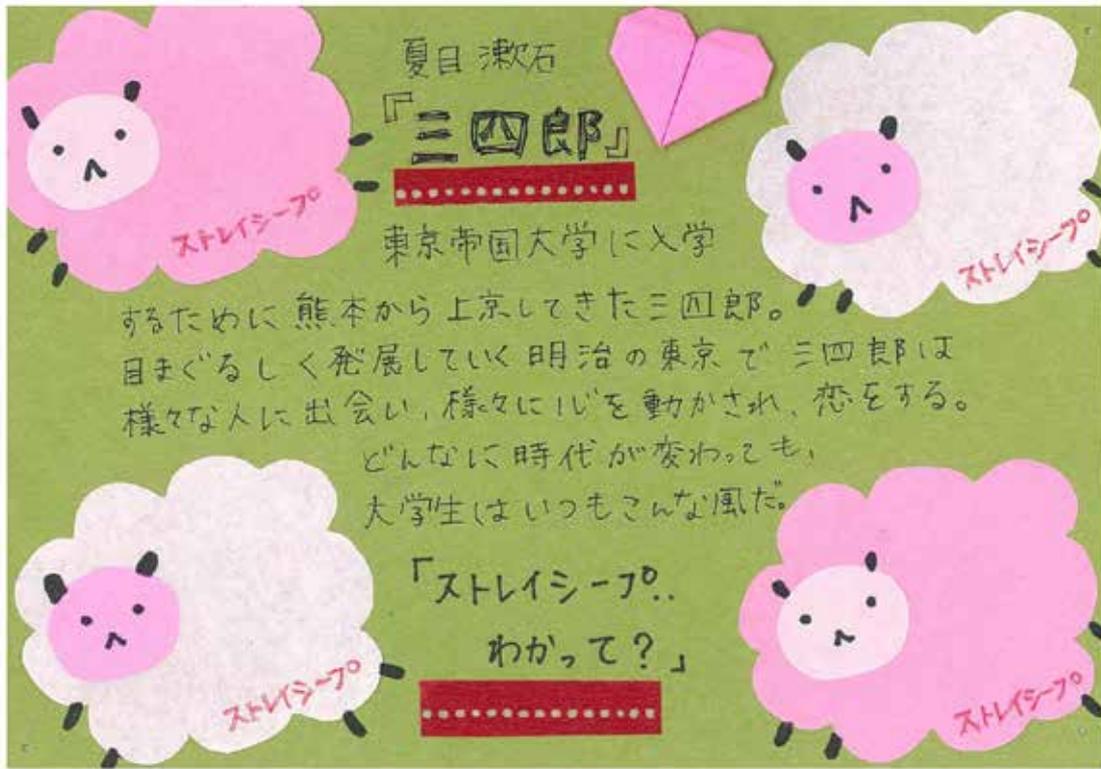
## 『坑夫』を未読のお嬢さんへ。

元ネタが他の人からの提供だったり、ガテン業界が舞台だったり、漱石作品には珍しいタイプの中編。しかし正直、前半～中盤にかけては辛いかもです。主人公は鬱々、キレイじゃない描写もちよいちよい出てくるうえ、どこに連れて行かれちゃうんだろう、どうなっちゃうんだろう的な不安感が続きます。けれどそこを耐えて読んでいくと「足の長い」「体格の逞しい」「顔は背の割に小さい」「二重瞼の」「鼻筋が真直に通っている」「色が赭黒い」イケメン兄貴が登場します。親切で頼り甲斐ありまくり、おまけにインテリで暗い過去持ちの完全装備。だまされたと思ってレッツご一読。

東京都文京区 K. Fさん



佐賀県神埼市 K. Hさん



滋賀県東近江市 E. Sさん

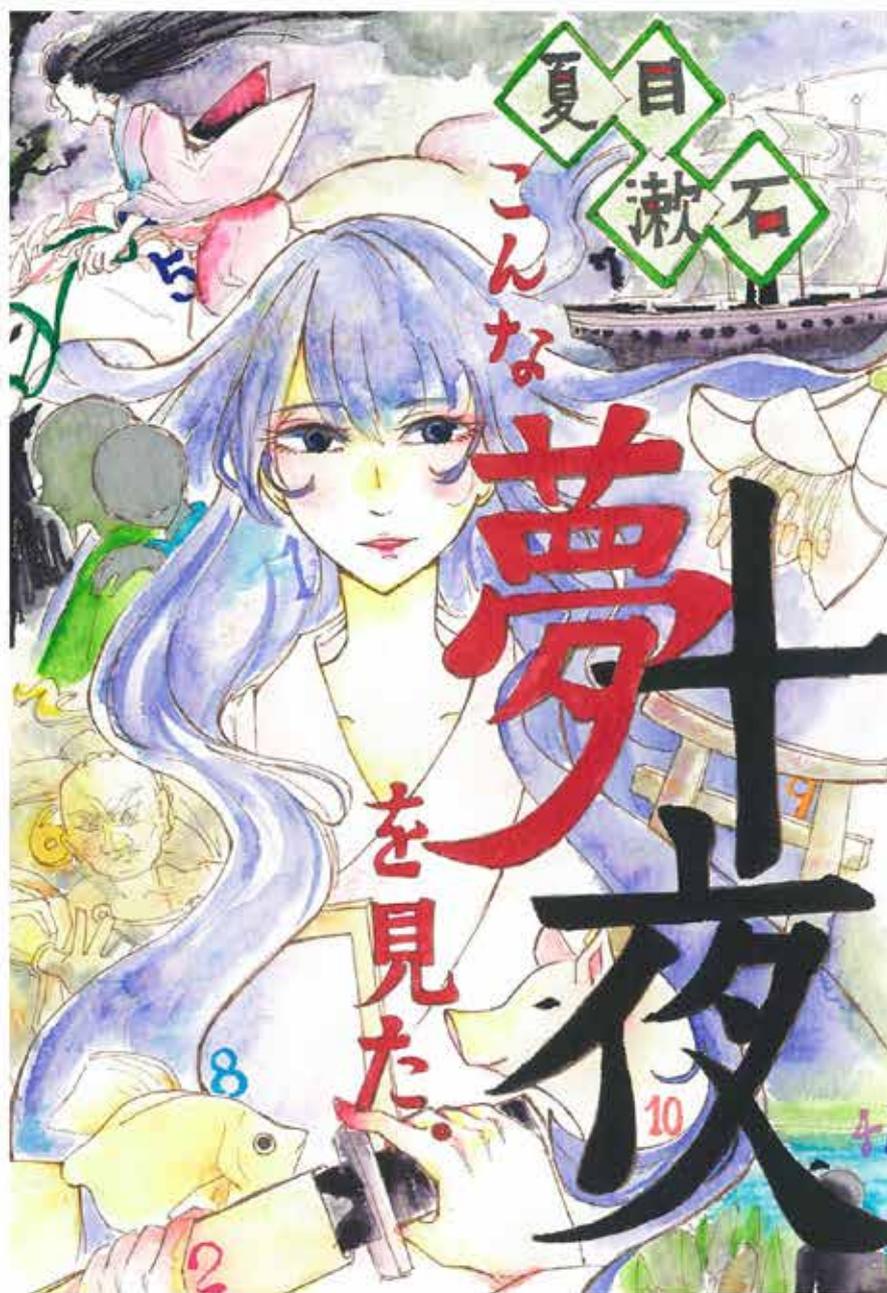


埼玉県久喜市 Y. Tさん

■コメント

ガテン系の異色作「坑夫」を"お嬢さん"に向けて宣伝したところが面白かったですね。「それから」は、簡潔にしてストレートに作品の核心を突いています。「三四郎」2作品、作風は異なりますが、青年期の迷いを表現していて、印象的でした。

ビジュアル賞…作品のイメージをふくらませた作品から選びました。



東京都立川市 K. Hさん



神奈川県横浜市 Y. Sさん

■コメント

「夢十夜」「吾輩は猫である」両方とも、文庫本の装幀にしても良いぐらい、パッと目に飛び込むインパクトがありました。

たくさんのご応募有り難うございました！